

# 海外の機関リポジトリ状況 オハイオ州立大学とOhio LINK

---

平成18年度学術ポータル担当者研修

2006年7月26日(水)ー8月28日(金)@国立情報学研究所

2006年8月30日(水)ー9月1日(金)@名古屋大学

国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課 学術ポータル係

関戸麻衣

# 調査概要

---

- 期間: 2006年3月20日(月)~4月28日(金)
- 訪問先:
  - オハイオ州立大学(Ohio State University)
  - OhioLINK
- テーマ: 機関リポジトリの運用実態調査等

# 本日の内容

---

- オハイオ州立大学
  - Knowledge Bank
- OhioLINK
  - コンソーシアム型機関リポジトリプロジェクト  
Digital Resource Commons
- まとめ

# 調査目的

---

- どうやってコンテンツを収集しているか、その現場
  - 方針
  - 体制
  - 広報

# オハイオ州立大学 (OSU)

---

<http://www.osu.edu/>

- 学生数 55,000人
- 職員数 16,000人



巨大

- 全米ランク60位  
(US News 2006年)



# オハイオ州立大学—図書館

---

<http://library.osu.edu/>

- 図書館数： 37館
- 職員数：
  - Professional 121
  - Support Staff 159
  - Student Assistance 121
- 蔵書数：
  - 図書 580万冊
  - 雑誌 35,000誌

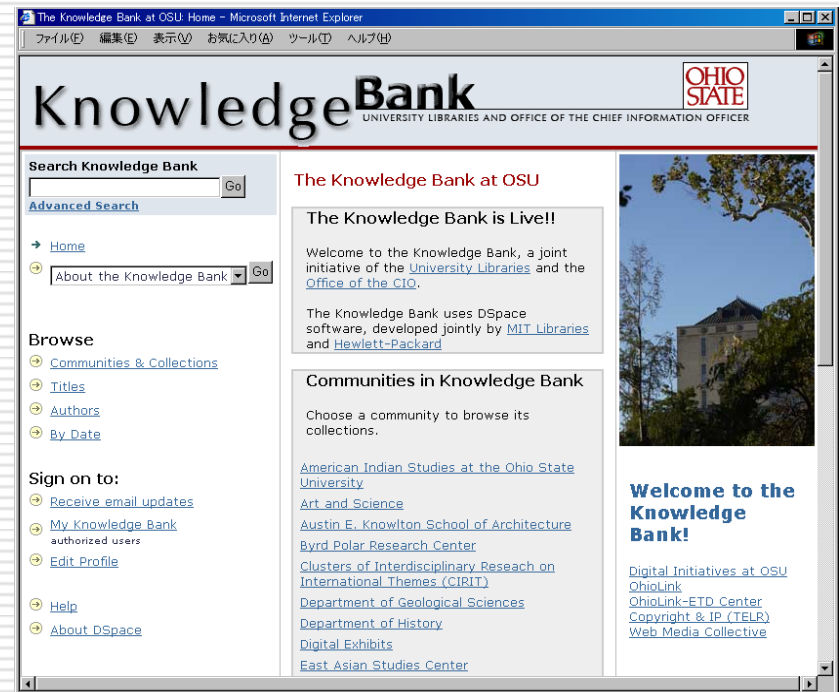


Main Library

# “Knowledge Bank”-OSUの機関リポジトリ

<https://kb.osu.edu/>

- 2003年サービス開始
- 29コミュニティ
- 5000アイテム
  
- システムはDSpace



# Knowledge Bank—運用体制

企画・広報	1名（管理部門） + Subject Librarian	
システム担当	2名（IT&目録受入部門）	コミュニティ設定のサポート
メタデータ担当	2名（+1名） （IT&目録受入部門）	データ登録の サポート
著作権担当	1名 （IT&目録受入部門）	著作権に関する サポート（必要な場合）
電子化担当	2名？ （IT&目録受入部門）	（図書館のコンテンツ）

※システム運用担当は別途、大学のIT担当者



# Knowledge Bank—運用体制

---

## □ Knowledge Bank専任の職員はいない

- システム担当-目録システム, HPなどを兼務
- メタデータ担当-他の電子化プロジェクトを兼務

→図書館の通常業務として位置づけたい

## □ システム担当の図書館員は1月に2人増

- Knowledge Bankのためでもあるが, 図書館の機能を広げるため

# Knowledge Bank—広報

---

## 1. Subject Librarian

- 自分の分野の教員に働きかける
- ニーズに合わせて



## 2. 企画・広報担当

- Subject Librarianの要請に応じて、プレゼンテーション等を行う
- 多い時期は週1回ペース



# Knowledge Bank—広報

---

## □ アピールポイント

- ビデオ, 音声付PPT等。どのような形式のコンテンツも受け入れられる
- Googleからも検索できる, 可視性(ビジビリティ)があがる。
- 永久に保存する, 変わらないURL



# Knowledge Bank—著作権

---

- 著作権の専門担当者1名
  - (学生アルバイト1名)
- 教員からの相談
- 許諾の交渉
- 広報



# Knowledge Bank—著作権

---

## 「Retaining Your Copyright」

(著作権を渡さないで)


- 論文投稿時の契約で、非商用での自由な利用の権利を保持すること、最終版PDFを提供させること、を薦める。
- 契約書に付ける補遺(Addendum)案を提供
  - SPARCのフォーマットを元にOhioLINK版  
<http://www.arl.org/sparc/author/addendum.html>

# Retaining Your Copyright



An introduction  
to the use of the  
Author's Addendum

A benefit  
for authors.

 UNIVERSITY LIBRARIES

[library.osu.edu](http://library.osu.edu)

# Knowledge Bank – コンテンツ

---

- コンテンツ収集方針-コミュニティに任せる
  - アメリカ的精神? 「なにかをさせることはできない」
  - しかし, セルフアーカイビングに限界を感じている
  
- 映像等, 何でも扱えることをアピール

# Knowledge Bank-今後の課題

---

## □ セルフアーカイビングでは限界？

- 図書館で引き受けられる体制を作る
- 図書館の目録担当をKnowledge Bank業務に

## □ 目録を取る

- Knowledge Bankのメタデータと重複しても
- 目録DBで図書館のすべての情報を入れる





# Digital Resource Commons

---

<http://drc-dev.ohiolink.edu/wiki>

- Ohio LINK提供
- コンソーシアム型 機関リポジトリプロジェクト
- 現在開発中

# Ohio LINK とは

---

- オハイオ州の図書館コンソーシアム
  - 大学図書館84館と, 州立図書館(1館)
  
- 州で予算化
  - 参加館はサービスに課金なし
  - 州として効率化

# Ohio LINK の活動

---

## 1. 物理的なリソースの共有

=ILL

## 2. デジタルリソースの共有

=DB,電子ジャーナル, 図書館システム、等

## 3. デジタルな, ローカルリソースの共有

=機関リポジトリ 等

# Digital Resource Commons

---

- さまざまな電子情報の管理システムの需要に、  
まとめて応える
  - 機関リポジトリ, コース・マネジメント・システム, 研究者情報システム, 電子ジャーナルシステム等
  - 各大学の個別のサービスとして提供する
  - サービスポリシーは各大学が設定

# コース・マネジメント・システム(CMS)

<http://telr.osu.edu/carmen/>

## □ 授業管理システム

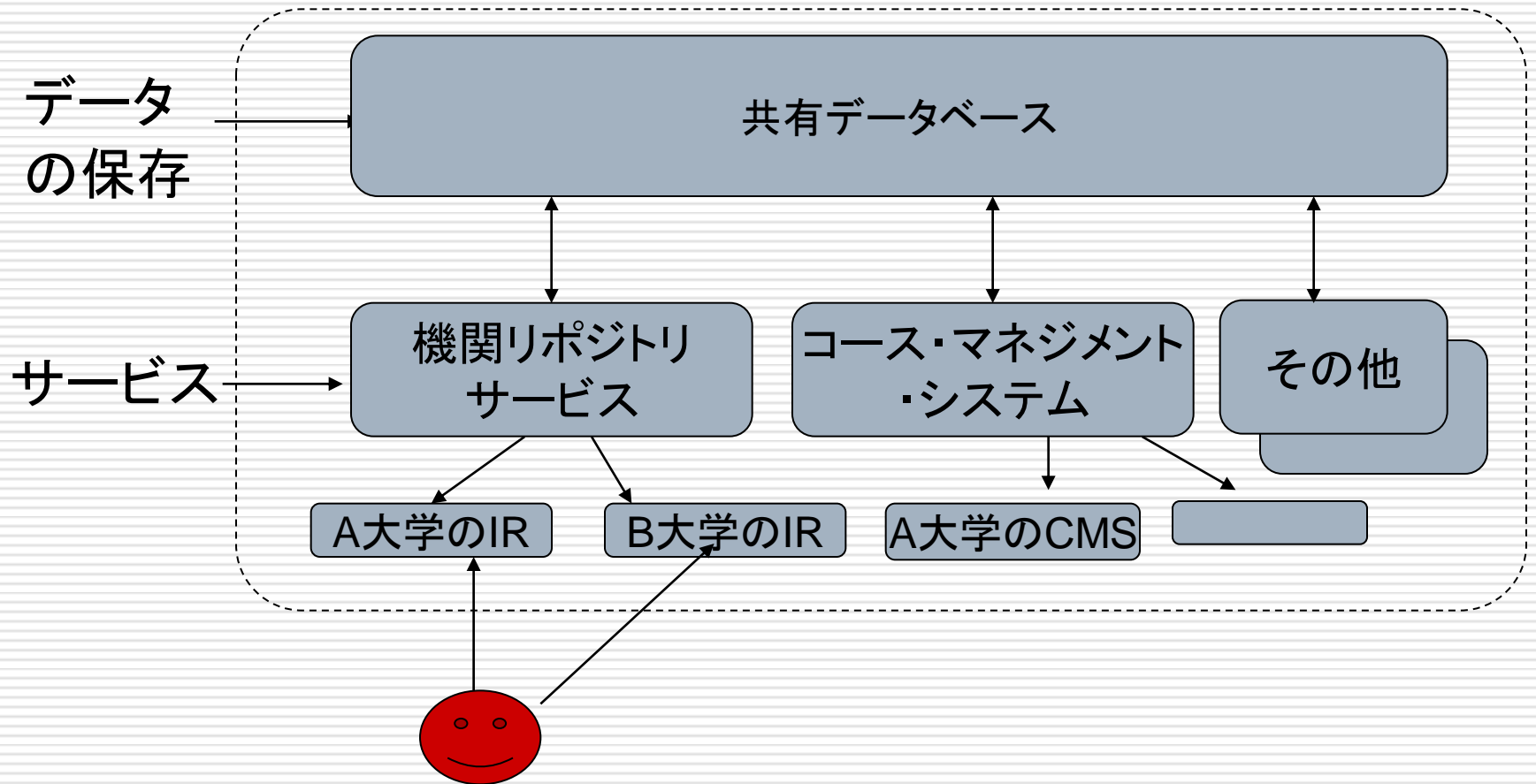
- 授業ごとのサイト
- 資料の登録
- コミュニティ
- テスト
- 成績管理 –大学への報告と連動

- アメリカでは普及



Carmen(OSUのCMS)

# Digital Resource Commons



# Digital Resource Commons

---

- 共有できる部分は共有、効率化をはかる
- オープンソース
  - ベースはFedora



# Digital Resource Commons—OSU

---

- Digital Resource Commonsが正式に稼働したら. . .
  
- Knowledge Bankもシステム移行する
  - システムは何でもいい
  - 移行も問題にならないだろう

# Digital Resource Commons-考察

---

□ 全体の効率を追求

□ 日本でも可能性？

# まとめ

---

- 全図書館・全学的に力を入れている
- 広報は草の根的
  - “Librarians are no more quiet!”
- 電子時代の図書館の業務

---

□ 日本の機関リポジトリは、  
がんばっている。おもしろい。